

#### 4. 経済生活

##### (1) 主な収入源 (Q10)

主な収入源を第8回調査と比較してみると、日本では大きな変化はみられず、「公的な年金(国民年金、厚生年金など)」（第8回 70.8% 第9回 67.4%）の割合が最も高い。

一方、欧米3か国では、「公的な年金」の割合が、ドイツ（第8回 77.2% 第9回 69.9%）とスウェーデン（第8回 72.6% 第9回 45.7%）で減少している<sup>1</sup>。（図表 2-4-1-1）

性別にみると、日本では、「公的な年金」（男性 62.5%、女性 71.8%）の割合は男性より女性が、「仕事による収入」（男性 27.0%、女性 15.2%）の割合は女性より男性が高い。

アメリカとドイツでも同様の傾向がみられるが、スウェーデンでは、大きな男女差はみられない。（図表 2-4-1-2）

年代別にみると、日本では60～64歳では、「仕事による収入」が65.6%であるが、65歳以上になると「公的な年金」が6割を上回り、75歳以上では8割台である。

欧米3か国でも同様の傾向で、60～64歳では「仕事による収入」（アメリカ 48.1%、ドイツ 53.7%、スウェーデン 66.2%）の割合が最も高いが、65歳以上になると「公的な年金」を主な収入源とする回答者の割合が高くなる。（図表 2-4-1-3）

図表 2-4-1-1 主な収入源(第8回比較)

		n	仕事による収入	公的な年金、厚生年金(国民年金など)	私的な年金(個人年金など)	預貯金などの引き出し	子代など(財産からの収入、家賃、利地)	子供などからの援助	生活保護	その他	無回答
日本	第9回	1,367	20.8	67.4	1.7	3.1	2.1	1.0	1.0	1.0	1.8
	第8回	1,105	23.4	70.8	1.1	0.7	1.1	0.8	1.0	1.1	-
アメリカ	第9回	1,006	17.3	53.5	11.3	3.1	7.8	0.5	0.9	3.6	2.1
	第8回	1,003	22.5	55.0	12.5	2.8	3.5	0.7	1.2	1.6	0.2
ドイツ	第9回	1,043	16.2	69.9	3.0	2.2	2.9	0.6	2.7	1.9	0.7
	第8回	1,008	10.3	77.2	3.3	2.3	2.2	0.5	1.4	2.3	0.6
スウェーデン	第9回	1,528	15.8	45.7	2.2	0.3	0.3	-	0.7	1.8	33.2
	第8回	1,000	16.7	72.6	4.4	0.5	0.5	0.1	2.3	2.9	-

<sup>1</sup> スウェーデンは、第9回で「無回答」が大幅に増加している。

図表 2-4-1-2 主な収入源(性別)

(%)

		n	仕事による収入	公的な年金(国民年金、厚生年金など)	私的な年金(企業年金、個人年金など)	預貯金などの引き出し	代子、財産からの収入(土地、家賃、配当金など)	子供などからの援助	生活保護	その他	無回答
日本	男性	651	27.0	62.5	2.0	2.6	1.8	0.2	1.2	0.2	2.5
	女性	716	15.2	71.8	1.4	3.6	2.4	1.8	0.7	1.8	1.3
アメリカ	男性	425	20.9	45.9	14.4	3.8	8.9	0.5	0.2	3.3	2.1
	女性	581	14.6	59.0	9.1	2.6	6.9	0.5	1.4	3.8	2.1
ドイツ	男性	469	19.2	64.4	5.1	2.8	3.0	0.2	3.0	1.7	0.6
	女性	574	13.8	74.4	1.2	1.7	2.8	0.9	2.4	2.1	0.7
スウェーデン	男性	763	16.3	43.1	3.5	0.3	0.3	-	0.9	1.3	34.3
	女性	765	15.4	48.2	0.8	0.3	0.4	-	0.5	2.2	32.2

図表 2-4-1-3 主な収入源(年代別)

(%)

		n	仕事による収入	公的な年金(国民年金、厚生年金など)	私的な年金(企業年金、個人年金など)	預貯金などの引き出し	代子、財産からの収入(土地、家賃、配当金など)	子供などからの援助	生活保護	その他	無回答
日本	60～64歳	195	65.6	19.0	1.5	6.2	0.5	1.0	3.1	3.1	-
	65～69歳	302	25.8	62.6	2.3	2.0	2.3	1.3	0.3	0.3	3.0
	70～74歳	372	14.2	74.5	0.5	2.7	3.2	0.3	0.8	1.3	2.4
	75～79歳	231	8.2	80.5	1.7	3.5	2.2	0.9	1.3	0.4	1.3
	80歳以上	267	2.6	86.9	2.6	2.6	1.5	1.9	-	0.4	1.5
アメリカ	60～64歳	189	48.1	24.9	6.9	3.2	8.5	1.6	1.1	4.2	1.6
	65～69歳	229	21.0	47.6	13.1	5.2	4.8	-	0.9	5.2	2.2
	70～74歳	209	8.6	67.9	10.0	1.4	7.2	1.0	1.0	2.4	0.5
	75～79歳	174	6.3	63.8	11.5	2.3	9.2	-	1.7	2.9	2.3
	80歳以上	205	2.9	62.9	14.6	2.9	9.8	-	-	2.9	3.9
ドイツ	60～64歳	268	53.7	31.3	1.1	1.1	1.9	1.1	7.1	1.9	0.7
	65～69歳	209	7.2	79.9	3.3	3.3	1.0	0.5	0.5	3.3	1.0
	70～74歳	204	2.9	84.3	2.5	2.9	3.9	-	2.0	1.5	-
	75～79歳	194	2.1	85.1	4.1	0.5	5.2	0.5	1.0	0.5	1.0
	80歳以上	168	-	83.9	4.8	3.6	3.0	0.6	1.2	2.4	0.6
スウェーデン	60～64歳	302	66.2	9.6	-	1.0	0.3	-	1.0	7.9	13.9
	65～69歳	329	11.2	48.6	4.3	-	0.3	-	0.6	0.6	34.3
	70～74歳	355	1.1	53.8	2.5	0.3	-	-	0.6	-	41.7
	75～79歳	254	0.4	58.7	3.5	-	0.4	-	0.4	0.4	36.2
	80歳以上	288	-	58.7	0.3	-	0.7	-	1.0	-	39.2

(2) 1か月当たりの平均収入額(税込)(Q11)

1か月当たりの収入の平均額を第8回調査と比較してみると、日本では、回答の割合に大きな変化はみられないが、平均すると25万7千円と、第8回(21万7千円)から4万円増加している<sup>2</sup>。

欧米3か国をみると、アメリカでは平均11万2千円の増加(第8回平均27万5千円 第9回平均38万7千円)<sup>3</sup>、ドイツでは4万9千円の増加(第8回平均24万7千円 第9回平均29万6千円)、スウェーデンでは5万4千円の増加(第8回平均31万5千円 第9回平均36万9千円)である。(図表2-4-2-1)

性別にみると、日本では、回答の割合に大きな男女差はみられない。平均すると、男性28万円、女性は23万7千円である。

欧米3か国では、「10万円～20万円未満(年額では120万円～240万円未満)」の割合は、男性(アメリカ8.7%、ドイツ19.4%、スウェーデン14.7%)より女性(アメリカ16.0%、ドイツ32.1%、スウェーデン27.8%)が高い。3か国とも、女性より男性の月額平均が高く、その差はアメリカ7万9千円、ドイツ7万5千円、スウェーデン7万3千円となっている。(図表2-4-2-2)

年代別にみると、各国とも、年代が高くなるほど「10万円～20万円未満」の割合が高くなり、平均月額収入が減少する傾向がある。

日本の平均月額収入は、いずれの年代でも20万円台である。(図表2-4-2-3)

図表2-4-2-1 1か月当たりの平均収入額(税込)(第8回比較)

		n											平均値 (万円)
			5万円未満 (年額では 60万円未 満)	5万円～10万 円未満(年 額では60万 円～120万円 未満)	10万円～20 万円未満 (年額では 120万円～ 240万円未 満)	20万円～30 万円未満 (年額では 240万円～ 360万円未 満)	30万円～40 万円未満 (年額では 360万円～ 480万円未 満)	40万円～50 万円未満 (年額では 480万円～ 600万円未 満)	50万円～60 万円未満 (年額では 600万円～ 720万円未 満)	60万円以上 (年額では 720万円以 上)	収入はない	無回答	
日本	第9回	1,367	2.4	9.8	26.3	28.5	14.4	6.6	2.9	4.3	0.4	4.4	25.7
	第8回	1,105	2.4	11.9	30.5	30.2	11.2	9.3			1.0	3.5	21.7
アメリカ	第9回	1,006	2.5	4.3	12.9	12.3	9.6	8.9	5.8	18.2	0.9	24.6	38.7
	第8回	1,003	2.5	7.1	21.6	19.1	16.1	28.2			0.7	4.7	27.5
ドイツ	第9回	1,043	0.4	4.3	26.4	23.5	16.0	8.6	4.4	6.5	0.4	9.5	29.6
	第8回	1,008	0.8	4.9	29.2	24.9	15.5	13.3			0.8	10.7	24.7
スウェー デン	第9回	1,528	1.1	3.3	21.3	17.1	15.9	11.5	9.4	16.6	0.5	3.5	36.9
	第8回	1,000	0.1	1.0	16.4	26.4	17.1	38.6			0.4	-	31.5

注) 第8回では、「50万円～60万円未満(年額では600万円～720万円未満)」、「60万円以上(年額では720万円以上)」の選択肢がなかった。

<sup>2</sup> 平均値は、選択肢に以下の値を与えて算出した。

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 5万円未満:2万5千円      | 6. 40万円～50万円未満:45万円 |
| 2. 5万円～10万円未満:7万5千円 | 7. 50万円～60万円未満:55万円 |
| 3. 10万円～20万円未満:15万  | 8. 60万円以上:72万5千円    |
| 4. 20万円～30万円未満:25万円 | 9. 収入はない:0円         |
| 5. 30万円～40万円未満:35万円 |                     |

なお、第8回は選択肢6「40万円以上(年額では480万円以上)」が上限で、平均値算出にあたっては42万5千円を付与した。

<sup>3</sup> アメリカは、第9回で「無回答」が大幅に増加している。

図表 2-4-2-2 1か月当たりの平均収入額(税込)(性別)

		n	%									平均値 (万円)	
			5万円未満 (年額では 60万円未 満)	5万円～10万 円未満(年 額では60万 円～120万円 未満)	10万円～20 万円未満 (年額では 120万円～ 240万円未 満)	20万円～30 万円未満 (年額では 240万円～ 360万円未 満)	30万円～40 万円未満 (年額では 360万円～ 480万円未 満)	40万円～50 万円未満 (年額では 480万円～ 600万円未 満)	50万円～60 万円未満 (年額では 600万円～ 720万円未 満)	60万円以上 (年額では 720万円以 上)	収入はない		無回答
日本	男性	651	0.8	5.8	23.8	31.8	16.7	8.4	3.7	4.1	0.2	4.6	28.0
	女性	716	3.9	13.4	28.5	25.6	12.3	4.9	2.2	4.5	0.6	4.2	23.7
アメリカ	男性	425	1.6	2.4	8.7	11.1	13.4	10.4	7.3	22.1	1.2	21.9	43.1
	女性	581	3.1	5.7	16.0	13.3	6.9	7.9	4.6	15.3	0.7	26.5	35.2
ドイツ	男性	469	-	3.6	19.4	22.2	20.0	11.1	7.0	9.0	-	7.7	33.7
	女性	574	0.7	4.9	32.1	24.6	12.7	6.6	2.3	4.5	0.7	11.0	26.2
スウェーデン	男性	763	1.3	2.0	14.7	19.1	16.5	11.4	11.0	21.4	0.4	2.2	40.5
	女性	765	0.9	4.6	27.8	15.2	15.3	11.5	7.7	11.8	0.5	4.7	33.2

図表 2-4-2-3 1か月当たりの平均収入額(税込)(年代別)

		n	%									平均値 (万円)	
			5万円未満 (年額では 60万円未 満)	5万円～10万 円未満(年 額では60万 円～120万円 未満)	10万円～20 万円未満 (年額では 120万円～ 240万円未 満)	20万円～30 万円未満 (年額では 240万円～ 360万円未 満)	30万円～40 万円未満 (年額では 360万円～ 480万円未 満)	40万円～50 万円未満 (年額では 480万円～ 600万円未 満)	50万円～60 万円未満 (年額では 600万円～ 720万円未 満)	60万円以上 (年額では 720万円以 上)	収入はない		無回答
日本	60～64歳	195	2.6	7.7	22.1	23.6	15.4	9.2	5.6	7.7	1.0	5.1	29.6
	65～69歳	302	0.3	7.0	19.2	30.8	20.5	8.3	4.3	6.0	-	3.6	29.8
	70～74歳	372	1.6	8.9	24.2	33.6	13.4	6.5	2.4	4.8	-	4.6	26.4
	75～79歳	231	3.0	12.6	31.6	28.6	12.6	3.5	1.3	1.7	-	5.2	22.0
	80歳以上	267	5.2	13.5	35.6	22.5	9.7	5.6	1.5	1.5	1.1	3.7	20.7
アメリカ	60～64歳	189	4.8	3.2	7.4	10.6	7.9	6.9	5.8	27.0	1.6	24.9	43.6
	65～69歳	229	1.7	3.9	10.0	9.2	12.2	13.1	8.7	20.1	0.9	20.1	42.1
	70～74歳	209	1.0	5.3	10.0	14.8	10.0	11.0	5.7	18.2	1.0	23.0	39.5
	75～79歳	174	1.7	3.4	13.8	14.4	9.8	7.5	4.0	16.7	1.1	27.6	37.3
	80歳以上	205	3.4	5.4	23.4	13.2	7.8	5.4	3.9	9.3	-	28.3	29.7
ドイツ	60～64歳	268	0.4	7.1	22.4	17.5	14.2	9.3	8.2	11.6	1.1	8.2	33.1
	65～69歳	209	-	3.8	26.8	26.3	16.3	8.1	4.8	3.3	0.5	10.0	28.1
	70～74歳	204	1.5	4.9	25.5	26.0	11.8	10.3	3.4	6.4	-	10.3	29.0
	75～79歳	194	-	2.6	33.0	24.2	20.6	6.7	2.1	5.2	-	5.7	27.9
	80歳以上	168	-	1.8	25.6	25.6	18.5	8.3	1.8	4.2	-	14.3	28.7
スウェーデン	60～64歳	302	1.0	2.0	7.3	11.3	13.9	14.9	8.9	37.4	0.7	2.6	49.0
	65～69歳	329	0.6	3.6	15.2	17.3	16.1	13.1	13.1	19.5	-	1.5	40.3
	70～74歳	355	0.3	4.2	17.7	18.0	17.5	13.5	10.1	13.5	0.3	4.8	36.8
	75～79歳	254	3.1	3.1	29.5	16.5	17.7	9.1	10.2	7.9	-	2.8	31.4
	80歳以上	288	1.0	3.1	39.9	22.6	14.2	5.6	3.8	2.8	1.4	5.6	24.9

(3) 日々の暮らしに困ることの有無 (Q12)

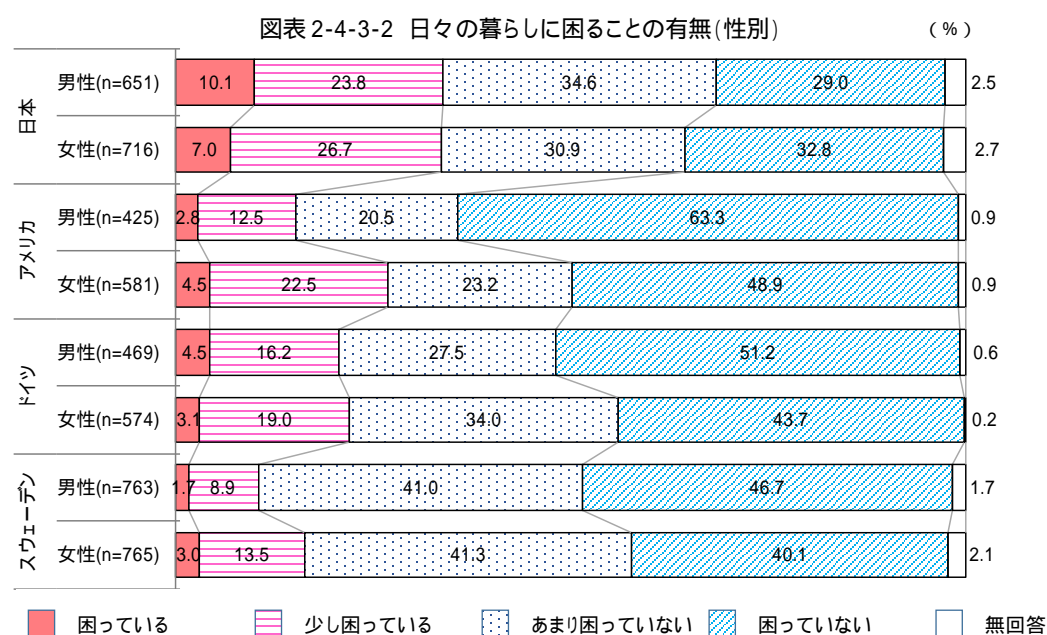
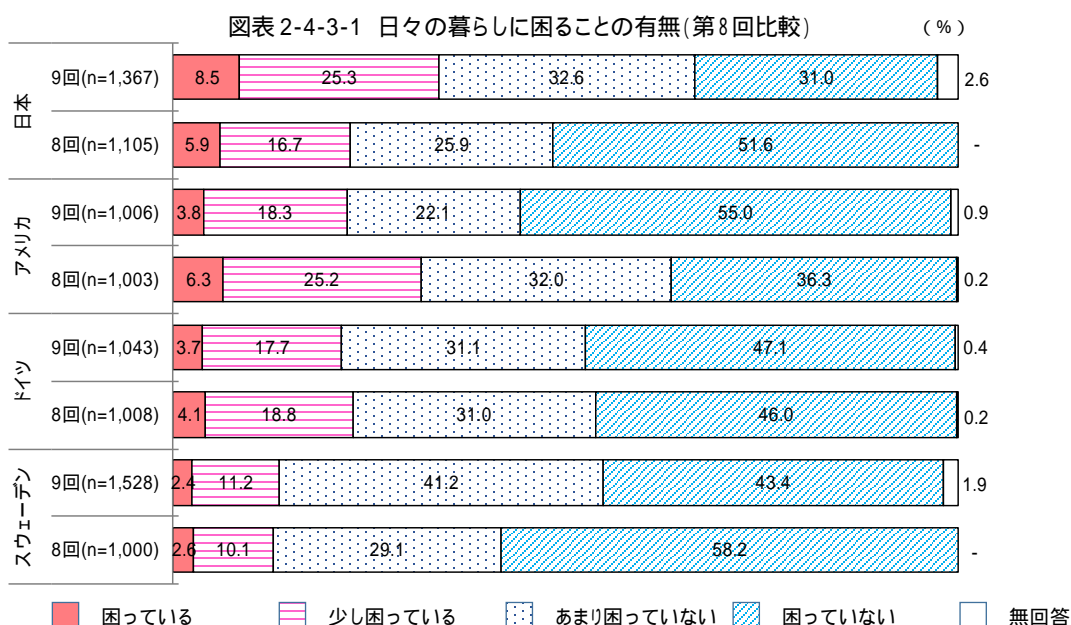
経済的な意味で日々の暮らしに困ることの有無を第8回調査と比較してみると、日本では「少し困っている」(第8回 16.7% 第9回 25.3%)の割合が増加し、「困っている」を合わせると『困っている』割合が11ポイント増加している<sup>4</sup>。

これに対して、アメリカでは、「困っていない」(第8回 36.3% 第9回 55.0%)が20ポイント近く増加している。

ドイツとスウェーデンには、大きな変化はみられない。(図表 2-4-3-1)

性別にみると、日本では、大きな男女差はみられない。

アメリカでは、「困っていない」(男性 63.3%、女性 48.9%)の割合は、男性の6割以上で女性を14ポイント上回っている。(図表 2-4-3-2)



<sup>4</sup> 「第5章 集計結果 2.4 4国単純集計結果」参照。

年代別にみると、日本では、大きな年代差はみられないものの、70～74歳で他の年代より『困っている』（「困っている」11.8%+「少し困っている」27.2%）割合がやや高い。

アメリカの80歳以上では、「困っていない」の割合が63.9%である。

ドイツは、年齢が高くなるほど「困っていない」の割合が高くなる傾向がある。

スウェーデンでは、年齢が高くなるほど「困っていない」の割合が低くなっているが、「あまり困っていない」の割合は高まっている。（図表2-4-3-3）

図表2-4-3-3 日々の暮らしに困ることの有無(年代別)

		n	困っている	少し困っている	あまり困っていない	困っていない	無回答	(%)
日本	60～64歳	195	10.8	22.1	35.4	31.3	0.5	
	65～69歳	302	4.6	27.5	33.1	31.5	3.3	
	70～74歳	372	11.8	27.2	28.5	30.1	2.4	
	75～79歳	231	6.9	26.4	35.5	28.1	3.0	
	80歳以上	267	7.9	21.7	33.3	34.1	3.0	
アメリカ	60～64歳	189	6.3	18.0	19.0	56.6	-	
	65～69歳	229	4.8	21.8	22.3	49.8	1.3	
	70～74歳	209	2.4	21.1	24.9	51.7	-	
	75～79歳	174	2.3	16.7	25.9	53.4	1.7	
	80歳以上	205	2.9	13.2	18.5	63.9	1.5	
ドイツ	60～64歳	268	5.2	22.8	31.7	39.9	0.4	
	65～69歳	209	3.8	18.2	33.0	44.0	1.0	
	70～74歳	204	2.5	15.2	36.3	46.1	-	
	75～79歳	194	4.6	15.5	27.8	52.1	-	
	80歳以上	168	1.8	14.9	25.0	57.7	0.6	
スウェーデン	60～64歳	302	3.0	8.3	35.1	52.3	1.3	
	65～69歳	329	2.1	12.2	36.8	47.7	1.2	
	70～74歳	355	2.5	12.7	40.8	42.8	1.1	
	75～79歳	254	3.5	13.4	43.7	37.4	2.0	
	80歳以上	288	0.7	9.4	50.7	35.1	4.2	

(4) 老後の経済生活に対する備え (Q13)

50歳代までに、老後の経済生活に備えて特にしていたことを第8回調査と比較してみると、日本では、「預貯金」(第8回46.6% 第9回54.6%)と「債券・株式の保有、投資信託」(第8回7.1% 第9回13.5%)の割合が増加している。「特に何もしていない」(第8回42.7% 第9回27.1%)の割合は16ポイント減少し、何らかの備えをした割合が増加している。

アメリカでは、「債券・株式の保有、投資信託」(第8回33.2% 第9回52.2%)、「老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める」(第8回13.8% 第9回27.1%)、「不動産取得(賃貸収入を得るための不動産の取得等)」(第8回15.9% 第9回23.1%)の割合が増加している。

ドイツでも、「不動産取得」(第8回21.4% 第9回29.8%)の割合が増加している。

スウェーデンでは、「預貯金」(第8回29.7% 第9回42.4%)が増加する一方、「個人年金への加入」(第8回56.7% 第9回48.8%)、「債券・株式の保有、投資信託」(第8回40.5% 第9回32.5%)の割合が減少している。(図表2-4-4-1)

性別にみると、日本では、「個人年金への加入」(男性21.2%、女性26.5%)の割合は男性より女性が高くなっている。

一方、欧米3か国では、「個人年金への加入」の割合は、女性(アメリカ43.0%、ドイツ17.2%、スウェーデン45.8%)より男性(アメリカ49.4%、ドイツ26.4%、スウェーデン51.9%)の方が高い。また、「債券・株式の保有、投資信託」の割合も男性が高くなっている。(図表2-4-4-2)

年代別にみると、日本では、いずれの年代でも「預貯金」の割合が最も高く、年代の低い層ほど「個人年金への加入」の割合が高い。

アメリカとドイツでも、すべての年代で「預貯金」の割合が最も高いが、スウェーデンでは、70歳代までは「個人年金への加入」の割合が「預貯金」を上回っている。(図表2-4-4-3)

図表2-4-4-1 老後の経済生活に対する備え(第8回比較)

		n	預貯金	個人年金への加入	債券・株式の保有、投資信託	不動産取得(賃貸収入を得るための不動産の取得等)	貴金属の保有(金、宝石等)	老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める	その他	特に何もしていない	無回答
日本	第9回	1,367	54.6	24.0	13.5	4.3	0.8	12.7	3.2	27.1	2.9
	第8回	1,105	46.6	19.6	7.1	5.0	0.5	6.4	1.4	42.7	0.1
アメリカ	第9回	1,006	62.7	45.7	52.2	23.1	9.3	27.1	7.0	12.4	-
	第8回	1,003	56.7	42.6	33.2	15.9	5.6	13.8	4.3	20.9	-
ドイツ	第9回	1,043	59.3	21.4	17.4	29.8	4.6	11.9	3.7	22.3	0.9
	第8回	1,008	56.9	15.7	13.5	21.4	2.8	8.0	3.3	26.1	0.9
スウェーデン	第9回	1,528	42.4	48.8	32.5	4.7	0.9	1.3	3.5	27.2	2.0
	第8回	1,000	29.7	56.7	40.5	6.8	0.7	3.2	3.1	25.4	-

図表 2-4-4-2 老後の経済生活に対する備え(性別)

(%)

		n	預貯金	個人年金への加入	債券・株式の保有、投資信託	不動産取得（賃貸収入を得るための不動産の取得等）	貴金属の保有（金、宝石等）	老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める	その他	特に何もしていない	無回答
日本	男性	651	52.8	21.2	15.7	4.6	1.1	14.0	3.7	27.6	3.2
	女性	716	56.3	26.5	11.6	4.1	0.6	11.5	2.8	26.5	2.5
アメリカ	男性	425	64.9	49.4	60.0	25.4	10.4	32.0	5.6	9.6	-
	女性	581	61.1	43.0	46.5	21.3	8.6	23.6	7.9	14.5	-
ドイツ	男性	469	60.3	26.4	21.1	33.5	4.7	13.6	2.8	22.0	0.9
	女性	574	58.5	17.2	14.5	26.8	4.5	10.5	4.5	22.6	0.9
スウェーデン	男性	763	45.0	51.9	37.9	5.6	1.0	0.8	3.7	25.2	1.0
	女性	765	39.9	45.8	27.2	3.8	0.8	1.8	3.3	29.2	3.0

図表 2-4-4-3 老後の経済生活に対する備え(年代別)

(%)

		n	預貯金	個人年金への加入	債券・株式の保有、投資信託	不動産取得（賃貸収入を得るための不動産の取得等）	貴金属の保有（金、宝石等）	老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める	その他	特に何もしていない	無回答
日本	60～64歳	195	55.4	31.3	16.4	2.6	1.0	14.4	2.6	25.6	2.6
	65～69歳	302	59.6	28.8	13.6	3.3	1.0	14.6	1.3	23.5	3.6
	70～74歳	372	51.1	24.2	14.0	5.6	0.5	14.0	3.5	28.0	2.7
	75～79歳	231	55.4	19.9	12.6	5.2	0.4	12.6	3.9	25.5	2.6
	80歳以上	267	52.8	16.5	11.6	4.1	1.1	7.5	4.9	32.2	2.6
アメリカ	60～64歳	189	64.6	46.0	53.4	27.0	10.1	33.9	7.4	9.0	-
	65～69歳	229	61.6	49.3	57.6	20.5	7.9	29.3	4.4	14.0	-
	70～74歳	209	65.6	50.7	47.8	22.5	8.6	22.5	8.1	12.0	-
	75～79歳	174	60.3	37.4	52.9	30.5	13.8	30.5	8.0	14.9	-
	80歳以上	205	61.5	43.4	48.8	16.6	7.3	20.5	7.3	12.2	-
ドイツ	60～64歳	268	57.8	30.2	20.5	30.2	2.6	14.6	4.1	23.1	0.7
	65～69歳	209	58.9	24.4	15.8	29.7	3.8	12.9	5.3	22.5	1.0
	70～74歳	204	56.4	19.6	18.1	29.9	6.4	13.2	2.5	22.5	2.0
	75～79歳	194	59.8	12.9	17.0	26.8	4.1	9.3	3.6	20.6	0.5
	80歳以上	168	65.5	15.5	14.3	32.7	7.1	7.7	3.0	22.6	-
スウェーデン	60～64歳	302	52.0	56.3	36.4	4.3	1.0	1.7	4.0	24.2	0.7
	65～69歳	329	44.4	57.1	31.0	3.0	1.5	1.5	3.3	25.2	0.9
	70～74歳	355	39.2	55.8	33.2	5.4	0.3	1.4	2.5	25.6	1.1
	75～79歳	254	39.4	43.3	32.7	4.7	0.4	1.2	1.6	29.1	3.1
	80歳以上	288	36.8	27.8	29.2	6.3	1.4	0.7	5.9	32.6	4.9



(5) 老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度 (Q14)

老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度を第8回調査と比較してみると、各国とも大きな変化はみられない。(図表2-4-5-1)

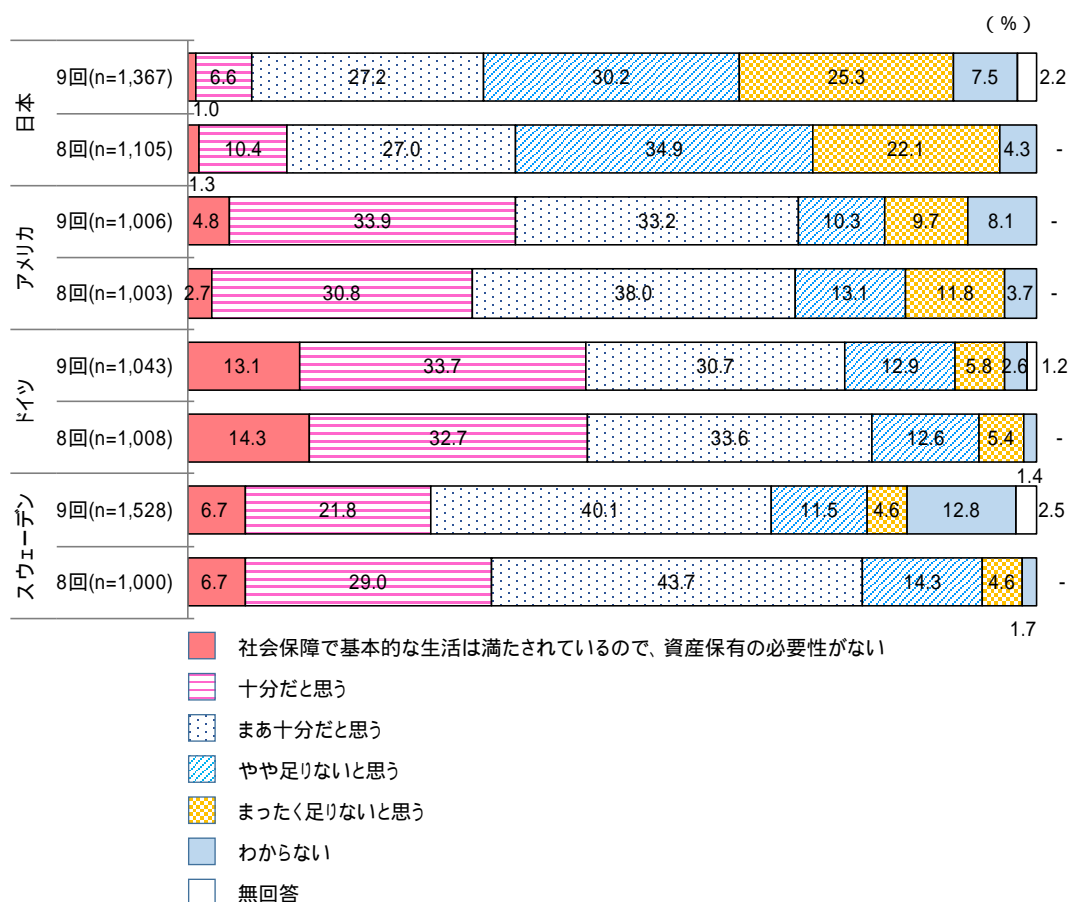
性別にみると、日本では、大きな男女差はみられない。

欧米3か国では、「十分だと思う」の割合が、女性(アメリカ30.1%、ドイツ29.4%、スウェーデン17.4%)を男性(アメリカ39.1%、ドイツ38.8%、スウェーデン26.2%)が上回り、男性の方が、老後の備えとしての充足度が高くなっている。(図表2-4-5-2)

年代別にみると、日本では、年代が高い層ほど「十分だと思う」もしくは「まあ十分だと思う」の割合が高くなる傾向にあり、80歳以上になると4割以上が『十分だと思う』と回答している<sup>5</sup>。これに対して、年代の低い層では「まったく足りないと思う」もしくは「やや足りないと思う」の割合が高くなる傾向があり、60~64歳では「まったく足りないと思う」が34.4%である。

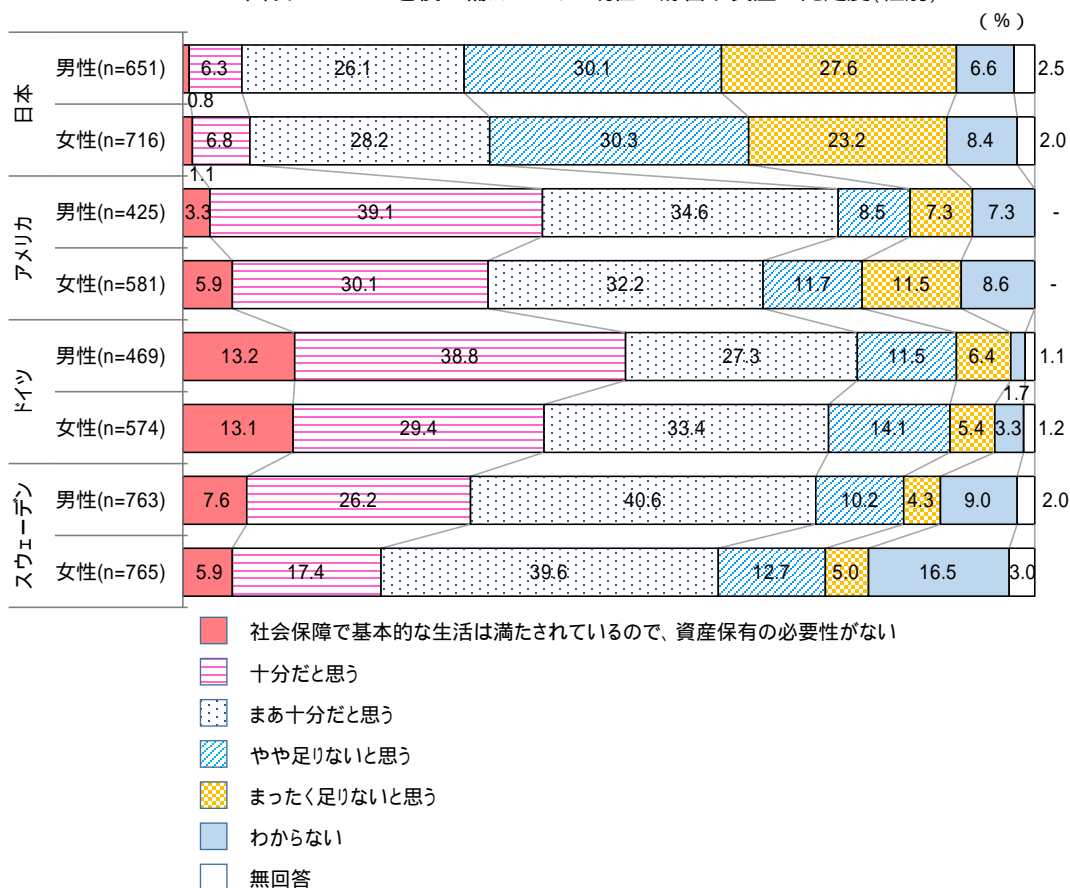
欧米3か国でも同様の傾向はみられるが、「十分だと思う」もしくは「まあ十分だと思う」の割合が6割から7割台である。また、「社会保障で基本的な生活は満たされているので、資産保有の必要性がない」の割合も、年代の高い層ほど高い傾向がみられる。(図表2-4-5-3)

図表2-4-5-1 老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度(第8回比較)



<sup>5</sup> 「第5章 集計結果 2.4 4国単純集計結果」参照。

図表 2-4-5-2 老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度(性別)



図表 2-4-5-3 老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度(年代別)

		n	社会保障で基本的な生活は満たされているので、資産保有の必要性がない	十分だと思う	まあ十分だと思う	やや足りないと思う	まったく足りないと思う	わからない	無回答
日本	60～64歳	195	-	6.2	22.6	30.3	34.4	6.2	0.5
	65～69歳	302	0.3	3.6	24.8	36.1	25.2	7.0	3.0
	70～74歳	372	0.3	6.2	28.2	27.4	28.2	7.3	2.4
	75～79歳	231	1.3	6.5	28.6	33.8	20.3	6.5	3.0
	80歳以上	267	3.0	10.9	30.7	24.3	19.1	10.5	1.5
アメリカ	60～64歳	189	-	27.5	31.2	16.4	15.3	9.5	-
	65～69歳	229	3.9	31.0	36.7	8.3	10.5	9.6	-
	70～74歳	209	4.3	34.4	39.7	8.6	7.2	5.7	-
	75～79歳	174	9.2	35.6	29.3	10.3	8.6	6.9	-
	80歳以上	205	6.8	41.0	27.8	8.8	7.3	8.3	-
ドイツ	60～64歳	268	10.1	22.0	35.8	17.5	9.7	3.4	1.5
	65～69歳	209	11.0	35.4	31.6	14.8	5.7	0.5	1.0
	70～74歳	204	12.7	38.7	27.9	12.3	5.4	2.0	1.0
	75～79歳	194	13.9	37.1	29.4	9.8	4.1	5.2	0.5
	80歳以上	168	20.2	39.9	26.2	7.7	2.4	1.8	1.8
スウェーデン	60～64歳	302	3.3	16.2	42.1	17.2	6.3	13.9	1.0
	65～69歳	329	2.7	24.0	39.5	14.6	6.7	10.3	2.1
	70～74歳	355	3.9	27.0	42.3	10.4	4.5	9.6	2.3
	75～79歳	254	10.2	19.7	39.0	10.2	4.7	13.8	2.4
	80歳以上	288	15.3	20.5	37.2	4.2	0.7	17.4	4.9